

令和 7 年 4 月教育委員会会議（定例会）会議録

1 日 時 令和 7 年 4 月 2 5 日（金）午前 1 0 時 0 0 分～午前 1 1 時 2 0 分

2 場 所 市役所 7 階 研修室

3 出席者〔教育長〕岩間健一

〔委 員〕宮本陽子(教育長職務代理者)、寺本彰、森田理恵、北野大

〔事務局〕池田淳教育総務部長、中田利明学校教育部長、三上佳明教育総務部次長、吉川誠学校教育部次長、稲田里織文化財保護担当参事兼文化財保護課長、中村まさみ所沢図書館担当参事兼所沢図書館長、伊東真吾学校教育担当参事兼学校教育課長、渡辺純也保健給食担当参事兼保健給食課長、大庭真紀子教育センター担当参事兼教育センター所長兼視聴覚センター所長、川島一禎教育総務課長、市村浩昭教育施設課長、奥井祥三社会教育課長、波多野健一スポーツ振興課長、荒井直子文化財保護課主幹、田中淳学校教育課主幹、刈谷和哉学校教育課主幹兼健やか輝き支援室長、岩田健太郎学校教育課主幹、佐藤篤教育センター主幹兼教育デジタル推進室長、加藤法祥教育センター主幹兼教育センター教育相談室長

〔書 記〕田畑貴史教育総務課主査、皆川博幸教育総務課主査

4 前回会議録の承認

5 会議の傍聴者 1 名

6 開 会

本日の議題は、議案第 1 号から議案第 4 号までの 4 件。なお、議案第 4 号については予算に関する審議のため、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 1 4 条第 7 項に基づき非公開としたい旨の発議があり、出席委員全員が賛成し、非公開で審議されることに決定した。

※議事の進行上、非公開の議案審議は、公開の報告事項の後に行った。

7 議 題

●議案第1号 所沢市スポーツ推進審議会委員の委嘱について

資料に則り、波多野スポーツ振興課長から以下のとおり説明があった。

「所沢市スポーツ推進審議会」委員は、「所沢市スポーツ推進審議会条例」第2条により、教育委員会が委嘱し、第3条でその任期は2年となっている。

今年度、改選期にあたるため本会議にお諮りするものである。

議案書2ページ、委員候補者は表のとおりである。条例第2条第1項で審議会は15人以内をもって組織するとあるが、現在12人で組織しており、今回も12人とした。

1番から9番に記載の委員は、条例第2条第2項第1号の知識経験者であり、早稲田大学スポーツ科学学術院や所沢市スポーツ協会、所沢市スポーツ推進委員会などから推薦をいただいた方たちを候補者に選出している。

また、10番から12番に記載の委員は公募による市民委員で、今回は、9人の方から応募をいただき、公開抽選により、3人の方を選出した。

団体等からの推薦された知識経験者委員9人が再任、市民委員3人が新任となっている。任期は、令和7年5月1日から令和9年4月30日までの2年間である。

なお、今までの審議会では、スポーツに関する事項として、スポーツ推進計画、スポーツ団体に対する補助金、スポーツ振興のあり方などについて審議をいただき、ご意見、ご提言をいただいている。

続いて、委員の経歴を簡単に申し上げる。

先ず、早稲田大学スポーツ科学学術院准教授 平山邦明さん。ご専門は、体育・スポーツ経営学、スポーツ組織論、コミュニティスポーツ論で、再任である。

続いて、所沢市スポーツ協会理事の矢島奈津子さん。推薦をいただいた所沢市スポーツ協会は、市内のスポーツ団体を取りまとめる団体で、副理事長としてご活躍している。また、所沢市バレーボール連盟の理事を務められている。再任である。

続いて、所沢市スポーツ推進委員会の会長を務められている宮寺敏雄さん。ユニバーサルスポーツフェアをはじめとしたスポーツ事業の実施についてお力をいただいている。再任である。

続いて、所沢市小学校体育連盟から推薦の鈴木克彦さん。現在、北小学校長で、

再任である。

続いて、所沢市中学校体育連盟会長、石原健さん。現在、南陵中学校長で、再任である。

続いて、所沢市スポーツ少年団、五十峯のぞみさん。10年以上に渡り、少年サッカーの指導者を務められ、現在は、サッカーチームの監督をされている。再任である。

続いて、所沢市レクリエーション協会副会長、綱木一さん。所沢市インディアカ連盟の会長としても活躍されている。再任である。

続いて、所沢市総合型地域スポーツクラブから、副会長・運営委員長をされている、村田敏次さん。再任である。

続いて、国立障害者リハビリテーションセンターから、自立支援局理療教育・就労支援部理療教育課厚生労働教官の江黒直樹さん。パラリンピック日本ゴールボール協会元男子日本代表強化スタッフとして、ご活躍された経験をお持ちで、障害者スポーツについて見識をお持ちである。再任である。

次に公募による委員については、大森慶子さん、川北清隆さん、服巻健さんの3名である。

3名ともスポーツに興味・関心があり、スポーツ振興に貢献したいと応募された方々である。

以下、質疑

(北野委員)

スポーツ推進審議会の役割を教えてください。

(波多野スポーツ振興課長)

地域スポーツの計画や地域スポーツ振興に係る重要施策を審議していただくものです。

(北野委員)

委員の任期は2年となっていますが、No.3の方は通算10年となっているのは何故でしょうか。

(波多野スポーツ振興課長)

市内スポーツを熟知されている方であり、スポーツ団体からの推薦もいただいているため、本市のスポーツ振興に欠かせない方としてお願いしているものです。

(北野委員)

12名の委員のうち女性が3名となっています。近年、所沢市でも審議会等で女性委員の割合を増やしていこうとしていると感じているため、今後、そうしたことも考えていただければと思います。

(波多野スポーツ振興課長)

審議会委員の選任要綱などでも努力義務ではありますが女性割合を増やしていくようにとされていることから、今後意識してまいりたいと思います。

(寺本委員)

公募委員について、9名の応募のうち3名が抽選で選ばれたとの説明でしたが、審議会の議論をしていくうえで必要な知識を備えている方や色々なアイデアを持っている方が抽選に漏れてしまうことがあるとすれば勿体ないことだと思います。先ほど北野委員からお話のあった女性委員の登用という観点では、偶然3名のうち1名が女性だったことは良かったと思います。抽選方式は平等のようではありますが、必ずしも市のスポーツ振興に合った方が選ばれているのかという部分では疑問があります。審議会が必要と考える内容に応じた公募をかけていくことも考えてもいいのではないのでしょうか。

(波多野スポーツ振興課長)

ただ今のご指摘は真摯に受け止め、検討していきたいと思います。

(宮本委員)

公募で選ばれた3名の方は、スポーツ振興に対してどのような思いをお持ちで、どのような活動をされてきた方なのか分かる範囲で教えてくださいませんか。

(波多野スポーツ振興課長)

今までの経験を活かして所沢市のスポーツ発展に寄与したいとの熱い思いを応募動機とされています。

(森田委員)

公募で選ばれた3名は、具体的にどのようなスポーツをされてきた方でしょうか。

(波多野スポーツ振興課長)

マラソン、駅伝などの陸上競技や、野球、ソフトボール、テニスなどの球技、さらにはバスケットボール、バレーボールなどを経験、又はそれらに関心をお持ちの方です。

※岩間教育長の採決により、出席委員全員が賛成し、原案どおり可決された。

●議案第2号 令和7年度所沢市就学支援委員会委員の委嘱について

資料に則り、伊東学校教育担当参事から以下のとおり説明があった。

本議案については、令和7年度所沢市就学支援委員会委員11名を委嘱するものである。

所沢市就学支援委員会の主な役割は、所沢在住の学齢児童生徒及び就学予定者の就学に関する相談、及び就学先の判断を行うものである。

知的障害、自閉症・情緒障害、身体障害、その他の障害のため、教育上特別な配慮を必要とし、就学相談を申し込まれた幼児・児童生徒及びその保護者との相談、面談を実施する。さらに、保育園、幼稚園、小・中学校での観察等を通して、一人一人の教育的ニーズに応じた就学先、具体的には、通常の学級・特別支援学級・特別支援学校及び通級指導教室等、その児童生徒にふさわしい学びの場を判断する。最終的な就学先は、本人、保護者の意向を最大限尊重して決定する。

委員は、条例に基づき、所沢市医師会推薦の医師、児童福祉施設の職員、知識経験を有する者、所沢市立小・中学校の校長及び教諭等から組織している。詳細については名簿をご覧いただきたい。名簿のうち、今回、新任となった方のみご説明申し上げる。4番の村上功二様は、国立障害者リハビリテーションセンター自立支援局・秩父学園地域支援課長である。前任者の退職により交代となったものである。また、6番から11番については市内小中学校の校長であり、このうち6番から10番までが新任となっている。

以下、質疑

(寺本委員)

市内の現在、特別支援学級に通級している子どもたちのうち自閉症スペクトラムに該当する子どもは概算でどのくらいいるのでしょうか。

(伊東学校教育担当参事)

特別支援学級の自閉症・情緒障害学級に通っている子どもと、それとは別に発達障害・情緒障害の通級指導教室に通っている子どもがいます。昨年度の就学相談件数が、小中学生および就学前の子どもと合わせて340人くらいです。そのうち半数が自閉症・情緒障害と仮定すると、その半数のうち最終的に就学先として特別支

援学級を選んだ子どもが新規に在籍していると考えられます。一方で、通級指導教室については、令和6年度、発達障害・情緒障害の通級指導教室の相談件数が200件超となっており、これは入退級両方を合わせた数なので、半数程度が入級と考えられます。新規に関しましてはそういう状況です。

(寺本委員)

相談を受けた結果、そこには通級しないとなった場合も、自閉症の障害を持っているか、又は疑いがある子どもたちもいるはずです。そうしたお子さんやその保護者の相談相手として、この名簿にある委員のうち自閉症に特化した専門の方はどなたでしょうか。委員の人数枠が11名ではなく仮に13名だとしたら、最近の学校現場での負担を考えると、専門の方をお願いし自閉症に係る的確なアドバイスができる体制にしておくべきではないかと思います。そういう委員を増やすことはできないのでしょうか。

(伊東学校教育担当参事)

数年前に、今回の就学支援委員会委員と別に、就学支援調査員という実動の方々を分けさせていただきました。元教員であったり、事務局の中には心理士がいたりしますので、そのような方たちが自閉症の子ども、あるいは保護者の相談活動をメインでやってくださっています。なお、今回ご提案させていただいた就学支援委員会委員の中で特に自閉症の専門性が高い方は1番の小林治医師です。また、5番の森脇愛子先生は青山学院大学で発達障害をご専門に教鞭をとられています。

(寺本委員)

分かりました。

(吉川学校教育部次長)

先ほどの自閉症・情緒障害特別支援学級の在籍数ですが、令和5年度、小中学校合わせて約290名が在籍しておりました。

(宮本委員)

今、説明のあった就学支援調査員についてお尋ねします。実際の相談や子どもたちの様子を直接見ている方が多いと思いますが、調査員の中にそうした子どもたちを学校へ送り出す側の保育園の保育士や幼稚園教諭などは何名くらいいらっしゃるのでしょうか。

(伊東学校教育担当参事)

年度によって差異はありますが、保育士は2・3名、そのほか市役所内の保育所管課からも数名出していただいています。

(宮本委員)

昨年度、5歳児健診が始まるとニュースで聞きました。これを受けて相談件数も増加してくると思います。もちろん相談者全員が特別支援学級などに進むわけではないかもしれませんが、今後の対策はどう考えていますか。

(伊東学校教育担当参事)

今、ご指摘があったとおり、これまでの枠組みでは各小学校で入学前に行われる就学時健診で新たに発見され、そこから就学相談につながるケースも一定数あるため、ご指摘の点もしっかりと見通しを持ってやっていかなければならないと考えています。また、関係機関との連携も重要であると考えており、保健センターやこどもと福祉の未来館のマーガレットとの連携もしっかりと行っていきたいと考えています。

(宮本委員)

認識が違っていたら申し訳ありませんが、マーガレットは5・6歳児も対象でしょうか。健診や相談などで見落としがないような仕組みを作っていただけたら有難いと思います。

(伊東学校教育担当参事)

マーガレットは入学前までのお子さんを主な対象としているようです。また、教育センターでは、小学校入学に関する不安感への相談を担っておりますので、保護者への周知に努めてまいりたいと思います。

(北野委員)

先ほどのスポーツ推進審議会委員とは違って、こちらは男女比は気にしないでいいと思います。経験が大事であり、重要な仕事と考えます。きちんと職責を果たしていただければと思います。

(岩間教育長)

委員の選出に当たっては北野委員からもお話があったように男女比率も大事にすべきであると考えます。一方で、各団体からの推薦ということもあり、難しい面もあることも事実です。専門性、適任であることは最優先の上で、できる範囲で男

女比についても配慮いただけると有難いということは伝えていってもいいのではないかと考えます。

※岩間教育長の採決により、出席委員全員が賛成し、原案どおり可決された。

●議案第3号 令和7年度所沢市学校運営協議会委員の任命について

資料に則り、伊東学校教育担当参事から以下のとおり説明があった。

学校運営協議会の委員については、所沢市学校運営協議会規則第9条の規定にもとづき、教育委員会が任命するものである。

学校運営協議会委員の任命については、前回3月の教育委員会会議定例会で一度ご承認いただいているところだが、新年度になり、学校職員やまちづくりセンター長の人事異動による変更、またPTA会長の改選等による変更、さらに新年度になって新たに増えた委員がいるため、あらためて令和7年度の各学校の学校運営協議会委員の任命について、本教育委員会会議に議案として提出させていただくものである。

委員については、別紙「令和7年度 学校運営協議会委員候補者名簿」をご覧ください。また、変更又は増員があった学校については、別紙「令和7年度 学校運営協議会委員 新旧候補者名簿」をご覧ください。

以下、質疑

(北野委員)

学校によって校長のみのところと、校長と教頭が入っているところがありますが、運営上の問題はないのでしょうか。

(伊東学校教育担当参事)

規則上は、第9条で「対象学校の校長及び関係者」と規定されていますので、校長は必ず入りますが、教頭に関しては学校の実情や他の委員との兼ね合いなどを勘案し、各学校で判断し推薦しています。

(岩間教育長)

今のところ教頭が入っていないことで何か課題、問題があるといったことは特にないという認識でよろしいでしょうか。

(伊東学校教育担当参事)

学校から、運営上支障があるとの話は聞いていません。ただし、教頭が委員に入

っていてもいなくても、この制度を円滑に進めていくためには、かなり深く関わっていることはまちがいありません。

(岩間教育長)

北野委員もそういうことを心配されてのご発言だと思います。これが完成形ではなく、より良い形にしていく途中だと思うため、課題が出てきたらより良く変更していってもらえればと思います。

※岩間教育長の採決により、出席委員全員が賛成し、原案どおり可決された。

8 報告事項

○所沢市教育委員会後援等名義使用許可について（教育総務課）

○所沢市教育委員会の4月から7月までの主な行事予定について（教育総務課）

○「所沢市議会一般質問要旨 令和7年第1回（2月）定例会」について

（教育総務課）

○令和7年度教育委員会予算の概要について（教育総務課）

○所沢市まちづくりセンター設置条例施行規則について（社会教育課）

○市制施行75周年記念事業『所沢市史』等の価格改定について（文化財保護課）

○第3次所沢市図書館ビジョンの配布について（所沢図書館）

○令和7年度いじめ問題対策連絡協議会委員について（学校教育課）

以下、質疑

(寺本委員)

市議会一般質問要旨の4ページ②に「ブラック校則」とありますが、これは誰が付けた名称なのでしょうか。

(中田学校教育部長)

一般質問で使われていた文言で、今、世間でも聞かれる言葉ですが、誰が付けた名称かは分かりません。

(寺本委員)

分かりました。意見は言いません。

(北野委員)

一般質問に対する答弁はどこかで見られるのでしょうか。市当局がどのように答弁されているのか気になるところです。

(池田教育総務部長)

答弁の内容は公開されているものです。本件に答弁まで含めると非常に膨大な量になってしまうことから、現在はこの形にさせていただいております。答弁要旨もご用意は可能ですのでお申し付けください。

(寺本委員)

かつては答弁も入っていたと思いますが、今のように必要なところだけ我々が質問し、必要ならその部分の答弁をいただければいいのではないかと思います。

当初予算の概要について、令和7年度は教育費は減っていますが、給食費は教育費に入っているのでしょうか。

(中田学校教育部長)

入っています。

(寺本委員)

令和6年度には給食費はどのような形で入っていましたか。

(中田学校教育部長)

同様に教育費に入っています。

(寺本委員)

給食費が無償化した費用がこちらに入ったのは、いつからでしょうか。

(渡辺保健給食担当参事)

令和6年度から給食費無償化の費用がこちらに入っています。

(寺本委員)

それでは令和5年度は給食費は入っていなかったということですか。

(渡辺保健給食担当参事)

当初では入っていませんでしたが、三学期に補正をさせていただき無償化としたものです。

(寺本委員)

給食費が入ったら通常は予算総額が増えるように思いますが、給食費が入ってもなお減っているということは、どこの部署もそうなののでしょうか。民生費が約30億ずつ増えていますが、他の部署もそれなりに減っているように見えます。ということは、民生費が原因なののでしょうか。

(池田教育総務部長)

委員ご指摘のとおり、民生費は右肩上がりという状況が長く続いています。経常経費として固定化されてしまっている経費がどんどん増えている状況が続いていますので、まだ民生費の上昇は歯止めが利かない状況が見えていると言えると思います。それに伴い、その他の経費については、ご指摘のとおりそれぞれ少しずつ減額する形で、何とか全体を作った予算の構成になっています。

(岩間教育長)

寺本委員も教育費が減っていることを心配されていると思います。事務局側も一生懸命に予算を確保していただいていると思いますが、なかなか厳しい状況にある、ということだろうと思います。

(寺本委員)

国全体として給食費を無償化するという議論がされているようですが、もしそれが通った場合には、この教育費予算から給食費の分がある程度減るという希望的観測をもって差し支えないのでしょうか。

(池田教育総務部長)

仮に国が給食費を手当てして地方自治体に交付していただけたとなった場合には、相当楽になると思います。

(宮本委員)

当初予算の小学校費、中学校費について、令和5年度から7年度にかけて減少していますが、どういうところが減らせる対象になっているのでしょうか。

(川島教育総務課長)

全体的には、受水槽改修工事、校舎LED化工事などの施設改修工事の分が、令和5年度・6年度で予定していた数量を少なくしたことにより予算額が減ったことが主な要因です。

(宮本委員)

施設にかかる予算を削減し時間をかける方向に転換したことによる、ということと理解しました。

(北野委員)

令和5年度から7年度にかけて、児童生徒数の推移はどうなっているのでしょうか。児童生徒一人当たりの予算がどう推移しているか分析するのがよいと思います。全

体として教育費が増えていけば有り難いですが難しい面もあるでしょう。また、図書館ビジョンについては、審議会委員には配付しているのでしょうか。

(中村所沢図書館担当参事)

これからお配りする予定です。

(寺本委員)

まちづくりセンター設置条例施行規則について、第17条の部分に関して近隣市町村で同様の項目についての表記、記載がどうなっているかを比較したうえで、具体化した表現になっているのでしょうか。それとも一般的な表記なののでしょうか。

(奥井社会教育課長)

他市の表記について詳細までは確認していませんが、今回はかなり踏み込んだ形で、心配する声をなくそうと強い意志でこうした形に具体化されたものと捉えています。

(宮本委員)

まちづくりセンター設置条例施行規則について、「特定公民館」という記載や、第5条で「教育委員会と連携を図る」といった記載がされており、今まで教育委員会会議で話し合ってきたことが反映されていると確認できましたので良かったと思います。

(寺本委員)

私も同感です。

9 議 題

●議案第4号 令和7年度教育委員会予算（6月補正）について【非公開】

《 削 除 》

※岩間教育長の採決により、出席委員全員が賛成し、原案どおり可決された。

10 その他

○今後の日程

- ・教育委員会会議5月定例会：5月28日（水）市役所6階604会議室
- ・教育委員会会議6月定例会：6月30日（月）市役所6階604会議室

11 閉 会 午前11時20分